



労働災害撲滅に向けて

茨城労働局長 が建設工事現場をパトロール

～ 死亡災害増加の建設業に、災害防止の徹底を呼び掛け ～

平成 30 年7月2日



パトロールを前に安全訓話をする福元俊成労働局長

茨城労働局の福元局長をはじめ、土浦労働基準監督署の工藤署長など計6名は、西松建設(株)関東建築支社がつくば市東光台で施工する大型物流倉庫の建設工事現場のパトロールを実施し、「墜落・転落」防止対策が講じられているかなどを確認しました。

最後に福元局長は、「今後も安全確認を怠らず、災害防止に努めていただきたい。これから暑くなるので熱中症にも注意していただきたい。」と話しました。

茨城労働局（局長 福元俊成）は、全国安全週間期間中の7月2日に、土浦労働基準監督署と合同による、安全パトロールを実施しました。

平成30年の茨城県内での労働災害による死亡者数は5月末現在で13人となり、対前年比4人増加している、特に建設業での死亡者数は7人で対前年比4人と大幅に増加していることから、建設工事現場をパトロールし災害防止の徹底を呼び掛けました。



パトロールの様子